



自由貿易システムと、相関する世界経済、関税政策の与える影響

令和7年4月13日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

トランプアメリカ大統領の関税政策は、今日のグローバル経済において、アメリカの有する先端産業と統一化を有するグローバル経済の実像において、その予測を超える変化を世界に有するものである。

これらは今日の自由貿易体制とともに、産業におけるヒエラルキーが存在し、先端産業への転換は第3次産業などの空洞化を国内に有するものである。

これらは経済の自国安全保証において自国内におけるすべての産業の育成と維持を求められることを意味するものである。

これらは今日の産業の転換における効率性や生産性の向上、自動化において、先端産業から第3次産業に至るまで、新しい生産性におけるそれら産業の転換は高い利益性を企業において実現できるものであり、それらは自国における産業政策にお行ける新たな視点を与えるものである。

これらは今日世界経済の統一性が世界における金融資本の有する資本力とともに、存在するものであることはまず理解しなくてはならない。それらグローバル経済は緊密の相関性を有し、今日自国経済の独立運営を可能とでいる国家は存在しないかもしれないのである。

これらはトランプ氏の関税政策が与えた現実への正しい理解なのである。相互に連携する経済は、資本において世界においてそのヒエラルキーを有する。その頂点は金融資本と先端産業なのである。

これらは今日の世界経済が相互充足において存在する事において理解を求められる。これらは、自由貿易体制は相互欠如を補完するものなのである。

そして為替と金利政策などがその潤滑を与えるものである。また今日の世界における物価格差は、自由貿易体制における基盤であり、それら産業におけるヒエラルキーがそれらの相互標準化を現実に与えるものなのである。これらは現実の均一性という標準化を基盤として世界経済の構築への考察なのである。